

春の気配を感じ、虫たちが騒ぎ始めます。つぼみが膨らみます。人の気持ちもわくわくします。



いいかも

可茂地区家庭教育学級応援通信

可茂県事務所 振興防災課
 家庭教育推進専門職 安田 早由里
 〒505-8508
 美濃加茂市古井町下古井 2610-1
 TEL : 0574-25-3111 内線 208
 FAX : 0574-25-3934
 令和5年 3月号

可茂地区トレジャーワード

「I (アイ) C (チャレンジ) T (トライ) ・親磨きで一步前進！」

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町



No.21

可児市立広陵中学校

講演会型

- 1 テーマ : 「防災セミナー」&閉講式
 いつ・どこで起きるかわからない災害に備え、どのようなことに気を付け、対処したらよいか知っておくことが、自分や家族の命を守ることに繋がると考えている。一人でも多くの皆さんに情報提供し、学び合いたい。
- 2 日時 : 令和5年2月6日(10:00~11:15)
- 3 講師 : 可児市役所 防災安全課職員
- 4 参加者 : 保護者6名 学校職員2名 市担当者1名
- 5 実施方法 : ○はじめの会
 ・学級長あいさつ ・教頭先生あいさつ
 ○講話「備えあれば憂いなし」

※中学校南舎棟2階 美術室にて



「防災」は仕方なくするもの？
 まずは、簡単なことから始めるだけでOK

参加者の声

- ・皆さん協力してくださり、大変ありがたい。毎年参加しています。
- ・コロナ禍で、過去3年のうち、2年間は、ほぼ全ての学級が中止となってしまったが、この一年は、計画通り実施することができた。ほっとしている。
- ・本日の講話で市の防災についてのお話があり、身近なこととして、よく理解できた。
- ・各自準備することが大切だとわかった。
- ・防災セミナーの開設は内容も盛りだくさんでよかった。もっといろいろな人に聞いていただきたい。

「知っておきたい防災の基礎」

- ・災害は、いつ・どこで・おきるかわからない。
- ・いざという時どう動くか、家族で話し合っておくことが大事。(「家族と連絡がつかなくなって、あちこちの避難所を探し回った。」「会えるまで1週間かかった。」という事例がある。)
- ・可児市で想定される最大深度は、「6弱」。(南海トラフ地震の場合)
- ・誰に助けてもらったかを問うアンケートがあり「自力 34.9%」「家族に 31.9%」と答えている。自助の力を高めておく必要がある。

「自分や家族の命は、自分で守る！」

- ・可児市の防災について 災害情報の発信や避難情報の発令、避難所等について情報提供。
- ・避難所に持っていくとよい物 **子どものいる世帯の避難所生活は、大変なことが多い。自宅が無事なら、「自宅避難」も選択肢の一つ。**避難とは「災難」を「避ける」ことであるから。
- ・安心安全な「自宅避難」をするために、**自宅を安全なシェルターにする。**まずは、「お片付け防災」から！
- ・非常備蓄品のローリングストックに心がけるとよい。

校長先生のお話

- ・常日頃、生徒たちに「自分の命は自分で守る」ということの大切さを話している。休み時間等に訓練を入れることもある。
- ・「備えあれば憂いなし」、自分にできる範囲で無理のない防災に心がけたい。
- ・自分は大丈夫という思いは禁物。常に危機意識をもつことが大切。
- ・今日の学びを是非、多くの皆さんと情報共有していただきたい。

市・家庭教育学級担当より

- ・家庭教育について、子どもが中学生の頃が子育てについて親の悩みが一番多いと言われている。ここでできた親同士のコミュニティー(ご縁)を大切にしていっていただきたい。



閉講式と重ねてのセミナーということで、校長先生、教頭先生も講座に参加してくださり、学校をあげて家庭教育学級を大切にしてくださっていることが、よく伝わってきた。市職員による講話は、市の防災情報等がたくさん盛り込まれており、身近な情報として今の生活にすぐ役立つ、とてもためになる学級であった。



No.22

川辺町乳幼児期（3歳児）家庭教育学級

講演会型＋体験活動参加型



- 1 テーマ : 「絵画診断」
子どもの描く絵をもとに、今の心の様子や育ちの傾向を探り、日ごろの子育てに活かしていく。
- 2 日時 : 令和5年2月16日（木） 10:00～11:15
- 3 参加者 : 講師：1名 親子：8組 町職員：1名
- 4 実施方法 「はじめの会」

※川辺中央公民館・2階和室にて

- ・担当者あいさつ ・手遊び
 - ・読み聞かせ「たろうくんのじどうしゃ」
 - ・お誕生会
 - 「絵画診断」
- ※講師は、長年にわたり、保育園・幼稚園で絵画指導を行い、その経験から、子どもの心の様子を統計学的に診断します。



まずは、子ども達が自由に絵を描きます

子ども達の絵を、一枚一枚診断します



- ・大きな円は、心が開放されているということ。
- ・ピンクは、お母さん大好きということの表れ。
- ・シールで虫を型どっているところから子どもらしい世界観が伝わる。
- ・黒い飛行機は、強さやたくましさの表れ。（不安な時は、タッチが弱くなる。）
- ・シャープな線から冷静さを感じられる。（客観的にもを観ている。）
- ・赤い色を好むのは、心が元気な証拠。
- ・いろいろな色を使う子は、感受性が強い傾向にある。好奇心旺盛。
- ・ブルーを使う子は、気持ちを抑える冷静なタイプ。
- ・小さな円の中に色を重ねた描き方は、心がナイーブなタイプ。もしかしたらストレスが鬱積しているのかも等々…。

子ども達の描いた絵から、その子の性格や心の状態を探る、興味深い講座であった。学級生が作成する通信に、前回の反省や次回の予定、子育てのワンポイントアドバイスなどが記載されており、各月のつながりが見てとれた。（単発で終わっていない）また、町外から転入した方が、「本町の学級は、年齢ごとで発達段階にあわせた講座が位置づいているのがよい。」と、感想を述べておられた。

- ・絵を上手に描かせるには？
とにかくほめる。「かっこいいね、きれいだね。」
- ・あまりパターンを与えすぎない。描くことを遊びの一つにする。
- ・筆圧が弱い時は？
「少し油分の多いクレヨンで。」
- ・なぐりがき発達＝手の発達
「点 ⇄ 線 ⇄ うずまき型」
- ・手首を使うようにさせる。

令和4年度の役員さんへ

この3冊を、必ず次の役員さんへ引き継いでください！

- 家庭教育学級運営マニュアル（令和改訂版） 「みんなで子育て」
- 家庭教育プログラム（乳幼児期編）（改訂版） 「みんなで子育て II」
- 家庭教育プログラム（小・中学校編）（改訂版） 「みんなで子育て 3」



No.23

七宗町立神淵中学校家庭教育学級

学校行事参加型 + 講演会型



- 1 テーマ : 「ようこそ先輩」
大学在学中に、中国・インド・ネパールに一人旅に出かけた経験をもつ本校卒業生の体験談を聴くことで、多様な物の見方、考え方に触れ、自分の視野を広めると共に、親子で進路を考えるきっかけとする。
- 2 日時 : 令和5年 2月16日(木) 14:10~15:00
- 3 参加者 : 保護者 19名 全校生徒・職員
- 4 講師 : 神淵中学校 平成17年度卒業生
現在、三重県内の化学メーカーで調達業務に携わっている。(海外の人との関わりが多い)
- 5 実践内容 : 授業参観終了後、ホールに、全校生徒及び職員、保護者が集まった。生徒の合唱披露に続き、先輩を迎え、体験談を聴いた。

※神淵中・ワーキングスペースにて

演題: 一人旅を通じて感じた文化の違い



久しぶりに聴く中学生の歌声に感動!



- <時期> 2012年6月~2012年12月(半年間)
- <場所> 中国、ネパール、インド
- <動機> ・現地人との交流を通じて、中国を知りたかった。
・学生の時にしか経験できないようなことを体験したかった。
・チベットに行き、壮大な景色を観たかった。

- <旅を通じて学んだこと>
 - ・中国には、多種多様な文化があり、56の民族で構成されている。(2023年現在)
 - ・東西南北で料理の味付けが違う。【北京料理】寒いので濃い味付け、【四川料理】気温が高く雨が多い内陸のため、食欲が増すように香辛料多め、【上海料理】海に近く魚介類を豊富に使った料理、【広島料理】食は広島(広島)にありと言われるほど、美食。
 - ・縁を大切に。多くの中国人と知り合い、義理と人情に厚いと感じた。(人間関係の繋がりが、とても大事にされる。)
 - ・誰かと物事を共有する意識の範囲が広い。(パーソナルスペースが広い。)
 - ・家族、親戚、それに匹敵する人との繋がりが強い。
 - ・住む場所、環境が異なれば考え方も異なる。視野を広げて物事を捉えることが大切。根本にあるものを考え多様性を理解する。

先輩が語る一人旅の様子や、そこから得た物の見方・考え方に、参観者全員がじっくりと耳を傾けた。質疑応答の時間には、積極的な挙手もみられた。親子で一緒に聴講し、帰宅後の家庭では、きっと会話が盛り上がったことであろう。学校行事と重ねたことで、参加者も多かった。

令和5年度の役員さんへ **家庭教育学級の計画を立てるにあたり、心に留めておいていただけるとよいこと。**

- 家庭教育学級運営マニュアルや家庭教育プログラムをご活用ください。
- 家庭教育学級は、提示されている5つの型を組みあわせて実施することを推奨します。
- 在宅取組で「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動(類似した取組でも可)を年間計画の中に位置づけましょう。
- 県作成の家庭教育について学ぶ動画「みんなで家庭教育」が、資料の一つとして活用できます。右のQRコードからご覧になってください。
- 家庭教育学級のテーマとして取り上げるとよいもの。(令和5年度の方角)
 - ・食育(食品ロス削減の啓発に係る内容)
 - ・SDGsの取組 等



No.2 4

白川町立蘇原小学校家庭教育学級

学校行事参加型+体験活動
参加型+講演会型



- 1 テーマ : 「読み聞かせ」 絵本で育つ自己肯定感の高め方
お子さんの学ぶ力・生きる力は「絵本」を使ってご家庭でグングン伸ばせます。～AI時代にこそEQを絵本で高めましょう～
- 2 日時 : 令和5年2月17日(金) 12:50～13:30「読み聞かせ」
13:40～14:25 第5校時
※5年生 親子で火おこし体験
※3年生 白川茶をふるまおう
- 3 参加者 : 保護者 15名 学校職員:3名 町担当:1名
- 4 講師 : EQ絵本講師 豊本めぐみ氏 シニアインストラクター EQ絵本コーチ
(「聞こえない」ハンディのため、幼少期から言葉の訓練・日本語の学習に絵本を取り入れた指導を受ける。岐阜県初のEQ絵本講師として子ども達の無限の可能性を引き出す手助けとなるよう絵本講座を開講。EQとは、心の知能指数・非認知能力のことをいう。)
- 5 内容 : 【絵本で育つ自己肯定感の高め方】



「自己肯定感」とは ← × 『私はこれができる』だけではない
ありのままの自分、どんな自分でも存在を肯定し、自分を大切に
する気持ち。『何があっても大丈夫』と、自分を信じ認めること。
「自己肯定感が高い」と← 安心できる、挑戦できる、前向きに取り
組める。

「なぜ絵本で自己肯定感が育つ？」

- ①自分の存在を肯定できる。(読み聞かせは、何かをしながらでは
できない。親の愛情がダイレクトに伝わる。)
- ②自分の人生が楽しく、成功すると感じられる。(ハラハラドキドキ
する内容も、最後は笑顔や成功で終わる。よかった、大丈夫！)
- ③成功や幸せを信じ、立ち上がる力が育つ。(大好きな母の声は、
脳に残る、響く。それはこちよい空間。←愛されている実感。)

「今日からできる【自己肯定感アップ】の3つのポイント。」

- ①一冊で大丈夫。自然な会話のスピードで読む。
- ②読んだ後、感想を求めない、質問しない。(子どもから出てきたら
返す。)
- ③読み終わったら、ほめて認めてハグ！

子育ては絵本があれば大丈夫



3年生は、子ども達が学んだ白川茶の学習の
出口として、保護者にお茶をふるまいました。
いつまでも白川茶を誇りに思えるように、その
心を大切にしてほしいと願います。



5年生は、親子で
火おこし体験をしまし
た。
協力しておこした火
はとても温かく、その
ぬくもりと太陽の光と
に照らされた素敵な
時間を過ごしました。

EQ絵本講師より、「絵本の魅力や効果」「絵本を使っ
た心の整え方」「心豊かに生きるヒント」を教えていただ
いた。講話の間に5冊の読み聞かせを挟み、その内容
と柔らかな語り引き込まれたひと時だった。絵本の読
み聞かせが親と子の幸せな未来を創る、「読み
聞かせ」の素晴らしさを再確認した。



令和4年度を終えるにあたり・・・お世話になりました、ありがとうございました。

学級長さんをはじめ、役員の皆さま、今年一年、家庭教育学級をリードしてくださり、ありが
とうございました。「コロナ禍であっても学ぶ場をなくしてはいけない。」、そんな皆さんの熱い
思いが各地区・園・学校でのアイデア溢れる様々な学級につながったのだと拝察します。「親
年齢は子育ての年齢と同じ」、未来を託す子ども達が心豊かにたくましく育つことを願い、家庭
で教育に携わる親としての学びを継続してくださったことに、改めて感謝します。一年間本当に
ご苦労様でした。ここでできたつながりをいつまでも大切に！

企業内家庭教育研修実施



お忙しい中、お時間をいただき、ありがとうございました。皆様、熱心に聴いてくださり、共に学び合えたことに感謝いたします。
今後も、機会がありましたら、どうぞお声かけください。



＜企業内家庭教育研修＞を実施させていただきました。
大垣共立銀行 美濃加茂支店様にて
テーマ：家庭とは、子育てとは
～子どもの健やかな育ちを願って～

7名(男性2名、女性5名)の皆さんが参加してください、家庭教育について研修を実施しました。参加者の年代が幅広く、家庭内での立場や役割もそれぞれ違っていました。各々、今の自分の状況と関わらせながら、聴いていただきました。ありがとうございました。

＜研修テーマと内容について＞

- ・わかっているが忙しい時は、なかなか行動に移せないの、ゆとりが大事であると再確認した。
- ・もう孫が4人います。孫の親はとも面白く育てています。
- ・改めて家族や子育てについて見直す機会となった。職場でもあてはまる点があり、今日聞いたことを活かして明るい職場にしたいと思った。

＜本日の研修内容について、ご家庭や職場でどのように生かしていけそうですか？＞

- ・子どもにとって家庭・家族は唯一のよりどころ、安心できる場所であることを実感した。
- ・少しでも心にゆとりをもって生活したい。
- ・職場でも下の者に対して、子どもを育てるように接していきたい。
- ・職場の中の笑顔と優しい声が、生きる力を育みます。笑顔と声を広めたい。

＜家庭教育関連の研修を、また受講することについてどう思いますか＞

- ・将来子どもが生まれたらまた聞きたい。
- ・機会があればまた受講したい。
- ・自分が子育てをしている時と、現状が変わってきているので、現在の子供達のこと分かるのはよいと思う。
- ・時間があれば、受けてもよいと思います。

・本日の研修テーマはいかがでしたか？

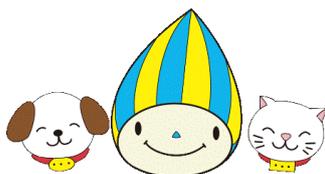
よい (1) 大変よい(6)

・企業で研修を、また受講することについてどう思いますか？

ぜひ受けたい (1) 受けてもよい(4) 必要ない(1)



ご協力ありがとうございました！



企業内家庭教育研修では、家庭教育に関わって幅広いテーマを設定することができます。

- 例 ※子育てのポイント(生活リズム・児童虐待等)
 ※子どもの発達について ※安全・防災
 ※情報モラル ※食育 ※父親の役割
 ※コミュニケーションスキル ※読書のすすめ等

令和5年度 新役員の皆さまへ

令和5年度に向けて、大きな期待と少しばかりの不安をおもちの皆さま、園・学校の先生方や各市町村の担当者と力を合わせ、来年度の家庭教育学級を充実させていしましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

まずは、家庭教育学級がどういうものかを知っていただき、年間計画を立てる準備を始めることからスタート！

1 「可茂県事務所公式ホームページ」「岐阜県庁公式ホームページ」を参考に！

過去、何年かにわたって実施された「家庭教育学級」や「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の実践事例が、通信の中にたくさん掲載されています。

「可茂県事務所」は 家庭教育学級応援通信

「岐阜県庁」は 家庭教育学級の取り組み紹介



事例がいっぱい

2 令和5年度家庭教育学級リーダー研修会(オンライン開催)

保護者及び園・学校職員・市町村担当者がオンラインでつながります。令和5年度の家庭教育学級について、県の方針説明を受けるとともに、活動について情報共有する大切な研修会です。毎年、全員参加をお願いしています。

【幼稚園・保育園・こども園家庭教育学級リーダー研修会】

令和5年 5月11日(木) A.M 10:00~11:30 (予定)

※可茂総合庁舎より配信 各園もしくは市町村会場にて参加(自宅のパソコンやスマートフォンからの参加も可)

【小・中学校家庭教育学級リーダー研修会】

令和5年 5月12日(金) P.M 14:00~15:45 (予定)

※可茂総合庁舎より配信 各小・中学校会場にて参加(自宅のパソコンやスマートフォンからの参加も可)

3 岐阜県庁より配信

リーダー研修会で拝聴する、県からの方針説明の資料(プレゼン)がYouTubeで期間限定公開されます。お時間のある方は、ご覧ください。

https://youtu.be/e9R6dh_hz9M



4 「みんなで家庭教育」 YouTube(オンデマンド配信)

- ・家庭とは、家庭教育とは、家庭教育学級とは・・・
- ・家庭教育学級の年間計画の立て方
- ・参考事例の紹介 等

※配信日程 3月中旬~5月中旬 準備が整い次第、詳細をお知らせします！

10分程度の
内容にまとめて
あります。

